



ひろしま農振

News ニュース

第4号

H7 3/1

【財団法人 広島市農業振興センター

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770

ー各地でガンバルひろしま農業!ー



大好評!新鮮野菜の即売



子供に大人気!ミニ動物園



「栄光」の花 グロリオサ



ひろしまそだち
特産物フェア会場



元気のいい
農業後継者クラブのもちつき



ひろしま農業を広く紹介

～第1回「ひろしまそだち特産物フェア」開催～

平成6年11月5・6日の両日、ひろしまそだち特産物フェアが安佐町の花みどり公園において盛大に開催されました。

「市内の農産物を広く市民に知ってもらおう」をテーマに農業振興センターと生産農家が協力し、展示、農産物・花木の即売、ミニ動物園、スタンプラリー等、多彩な催しでにぎわいました。



苗の即売



この広報紙は再生紙を使用しています。

生まれ変わる農地 ―土地改良総合整備事業―

急傾斜地にある小さな棚田や道水路を合わせて整備し、地元のみなさんが使いやすい農地をつくります。



◀ 安佐町明見谷地区

24時間ガンバル畜産業務

畜産係では、牛の受精卵移植、家畜の診療、飼養管理指導などを行い、畜産経営のお手伝いをしています。なかでも一番たいへんなのが診療です。毎日2台の診療車で市内の農家を回っています。夜遅くなることもたびたびあり、深夜や休日の往診もあります。今年度から診療車に無線が設置され、緊急診療にも迅速に対応できるようになりました。畜産物の輸入自由化、牛肉価格の低下や乳価の低迷などきびしい状況がありますが、少しでも畜産農家のお役に立てることを願ってがんばっています。



◀ 牛の診療

優良牛の子宮から
▼ 受精卵の取り出し



◀ バイオルームでの受精卵の処理

新ブランド「ひろしまそだち」

これは、「ひろしまそだち特産化事業」のことです。従来の生産面を主体にした事業体系から生産・流通・消費まで一体とした対策を行うことにより、生産者には、高付加価値型の農業を、消費者には広島市内産の信頼のおける農畜産物の提供を図るものです。

事業期間は、平成6年度～10年度までの5カ年で実施します。6年度で基本計画を策定し、7年度から順次認証、販売促進等の普及啓発を行っていきます。

基本計画の策定には、生産者の方にも参画をいただいています。



▲「ひろしまそだち」
完熟トマト



「ひろしまそだち」電照ダリア ▶

市街化区域の農家のみなさんへ ―農住組合事業によるまちづくり―

★これからの営農や農地管理、税金対策などに不安はありませんか。

農家のみなさんが、共同して「農住組合」をつくれば、あなたの不安は一件落着!!

農住組合は、農地所有者等が共同して農住組合という組織をつくり、0.5ヘクタール以上の農地の土地区画整理事業を行うことにより当面の営農を継続しつつ、住宅地の造成や住宅建設等の事業を行い、農地の有効活用を図るものです。

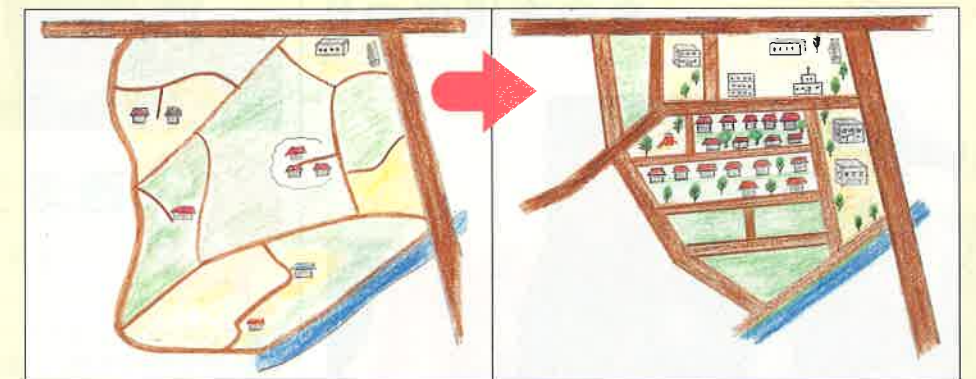
「農住組合」をつくれば、



農家のみなさんの手で「農住組合」をつくり、住みよいまちをつくりましょう。

(農住組合制度に関する問い合わせは、
広島市農業振興センター計画課構造改善係まで)

農住組合によるまちづくり



シャクナゲの国 ―花みどり公園―

花みどり公園シャクナゲの国は、市民が花木に親しむレクリエーションの場、農家との交流の場の提供を目的として整備され、平成5年4月29日みどりの日に開園しました。

園内には、花木や樹木を配した花木見本展示園、熱帯果樹を集めた展示温室、山全体にシャクナゲが植えられたシャクナゲの森、庭木を集めた学習見本園等があり、散策を楽しみつつ、樹木を知ることができるように工夫されています。

また、シャクナゲの国では、花木の生産技術に関する試験研究や、ゴールデンウィークに「シャクナゲ祭り」、「花木展」、年3回の「花木園芸教室」等、年間、様々な催しを開催しています。

◀ 花みどり公園



TOPICS

トピックス

広島市農業の多角的な振興を図るために ～広島市農業振興協議会発足～

今まで、本市の農業組織は、園芸振興連合会、農事研究会、農業青年クラブ連合会、地域農業集団連絡協議会があり、それぞれ独自に事業展開を図ってきました。

しかし、近年の本市農業を取り巻く環境・農業者の変化により、生産部門だけでなく、消費、流通部門へ踏み込んだ事業展開が必要になっております。

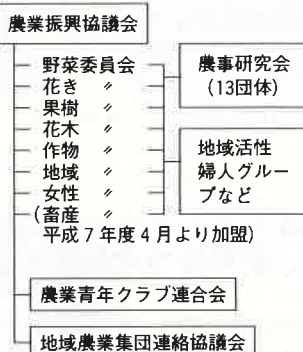
広島市農業振興協議会は、先の組織に地域グループを加え、より大きな組織に再編し、その組織力によって、新しい広島市農業を築こうというものです。

平成6年6月に発足し、現在各委員会を中心に活動しています。



▲ 広島市農業振興協議会設立総会

《新組織体制》

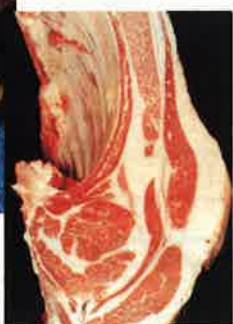


～「おいしい！」コール 食肉市場まつり



▲ 食肉市場まつり

おいしい和牛肉のロース断面 ▶



平成6年11月13日に広島市食肉市場で「食肉市場まつり」が開催され、JA広島市は、白木町の和牛肥育センターで育てられた和牛肉を販売しました。試食コーナーには行列ができ、「おいしい！」と大好評で、一頭分の肉を完売しました。肉を買っていただいた人にアンケートを実施したところ、広島市で和牛が生産されていることを知らない人が半数もいました。また、多くの人が赤身より霜降り肉の方が好きだと答えました。JA広島市では、この結果をもとによりいっそう白木産和牛肉をアピールし、市民に喜ばれる和牛肉づくりをめざしたいといっています。

～盛大に各地で 農業祭開催～

平成6年11月の週末、にぎやかに、市内各地で農業祭が開催されました。農産物品評会においては、この夏の湯水・高温等の異常気象のなか、出品数は少なかったものの、生産者の努力がうかがえる高品質な品が多くありました。



農業祭
(安芸区阿戸町)

第12回アジア競技大会広島を 花々で応援！

（協）広島市農業振興センターと広島市農業振興協議会の花き生産農家は、平成6年10月に行われたアジア大会に切り花を提供、大会の参加選手や役員に喜ばれました。

提供した花は、グロリオサ、ダリアを中心に、バラ、スターチス、ガーベラ等で、全て市内で生産されたものです。



グロリオサは、ラテン語で「栄光」を意味し、「参加選手に栄光を」の願いが込められています。

切り花の提供は、大会期間中3回行われ、文字通り大会に花をそえました。

◀ 選手村に花を飾りつける
ボランティアグループ

西洋シャクナゲの バイテク苗 農家へ

当センターでは、バイオテクノロジーによる西洋シャクナゲ苗の大量増殖の研究を行っており、既に10品種の苗生産に成功しています。

バイテク苗は挿し木や実生苗に比べて、①生育が旺盛（出荷までに1年短縮）②生育が揃う③下葉が落ちにくい④芽数が多く樹形が良いなどの利点があり、鉢物に適しています。

当センターは平成6年10月から、安佐北区安佐町の中国五郎さんに「アンナローズウィットニー」「パープルグローリー」など7品種4000本の西洋シャクナゲのバイテク苗を供給し、試作を開始しました。



◀ バイテク苗の試作を行う
中国五郎氏